

12月是人権月間です。

1948年12月10日に国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、12月10日を「世界人権デー」とし、日本では12月4日から10日を「人権週間」、12月を人権月間としています。世界人権宣言の第1条は、「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」としています。つまり、基本的人権は生まれながらにして全ての人に保障されているのです。しかし、現実の社会では、差別意識がなくなっていない。「障害がある方への差別」「外国人への差別」「女性への差別」そして「同和問題」など例をあげれば次々と出てきます。差別意識をなくしていく第一歩は他者を思いやる気持ちをもつことだと考えます。社会にはさまざまな価値観があり、さまざまな考え方があります。しかし、往々にして他者のことを自分と同じ価値観、考え方と独りよがりにとらえがちです。そして、他者が自分と違う言動をすると他者への攻撃が始まる場合があります。まず、他者の自分とは違う価値観や考え方を共有することから始める必要があります。このことが他者を思いやる気持ちにつながります。他者の思いを想像して言動を行うことが大切なのです。

本校では、12月に人権学習を実施しています。1年生は「身の周りにある様々な人権問題」、2年生は「自分たちの問題として共生を考える姿勢を持つ」、3年生は「同和問題にスポットをあて、人権問題を考える」をテーマにしています。一人一人の生徒が人権への思いを新たにしてくれることを願っています。

秋季新人大会

*バドミントン

11月8・15日に、バドミントンの秋季新人大大会が行われ、本校男女バドミントン部が出場しました。団体戦は男女ともに1回戦で敗退しましたが、個人戦ではシングルスで、1年男子TS君、1年女子YSさんがベスト8に入りました。



小学生半日体験

11月27日（金）午後、校区の御室・宇多野・花園小学校と来年度高雄中学校との統合により新たに高雄小学校の4校の6年生が、半日体験のため本校に来校しました。

全体会では、新生徒会本部役員が中学校の紹介を行い、小学生は少し緊張した様子で話を聞いていました。

授業では、国語・社会・数学・理科・美術・保健・家庭・英語の8教科と育成学級の9講座に分かれ、学習を行いました。小学生の皆さんは、興味をもって取り組んでいました。

部活動の体験は、希望の部活に分かれ中学生に教えてもらながら、楽しく活動をしていました。



高雄中学校との交流

12月7日（月）今年2回目の授業交流を行います。

9月に実施したときと同様に、高雄中学校の生徒はバスによる通学で本校に登校し、3時間、本校生徒と一緒に授業を受けます。9月は「道徳」を行いました。今回は教科の授業で、高雄中学校の先生も授業を行っていただきます。

（裏面に12月の行事予定をのせております。ご覧ください。）